

名古屋大学大学院
国際言語文化研究科
応用言語学講座第12回公開講演会

介護行動を伝えあう身体動作

—高齢者用グループホームのカンファレンスの場合—

後援：名古屋大学大学院国際言語文化研究科「応用・心理言語学分野の
レクチャー・チュートリアルによる大学院教育高度化推進プロジェクト」

講

師

細馬宏通先生
(滋賀県立大学人間文化学部・教授)

日

時

2012年2月12日(日) 午後4時半～6時

場

所

名古屋大学・全学教育棟北棟406室

高齢者用グループホームで行われるカンファレンスでは、介護者が報告中に過去の介護行為や入居者の行為をジェスチャーを用いて説明する場面が多発する。こうした場面では、介護者どうしは単に言語だけではなく、身体動作も含む活動をお互いにやりとりすることで現実を構成していることが考えられる。では、介護者は他の介護者の身体動作を手がかりに、いかに現実を構成しているのだろうか。本発表では、この問題を考えるために、カンファレンスで一人の介護者が先行するジェスチャーに対して自らもジェスチャーを含む発話で応答する場面を選び、マイクロ分析を行った結果を相互行為・会話分析の観点から考察する。

来訪歓迎・申し込み不要

問い合わせ先：
堀江薫教授 (horieling@gmail.com)

